

ホームページ作成入門

1997, 7, 23

1998 / 5 / 1改訂

南中野パソコン教室

東京パックス株式会社

目 次

1 . はじめに	1
2 . ホームページビルダーの概要	1
(1) ビルダーの動作環境とインストール	1
(2) ヘルプ	1
(3) ビルダーの画面構成	2
(4) ビルダーの基本操作	3
3 . ホームページ作成の準備	4
(1) プロトタイプのコンテンツについて協議	4
(2) ファイルの準備	6
(3) ファイル名の決定	7
(4) デザイン	9
4 . ホームページ (V e r 1) の制作	10
(1) トップページの作成	10
(2) リンク 1 のページの作成	14
(3) リンク 2 、リンク 3 のページ	15
5 . ホームページの修正 (V e r 2)	15
(1) 表組	15
(2) G I F アニメーション	16
(3) ボタン等の使用	18
6 . ホームページの修正 (V e r 3)	18
(1) メールの受信 [簡易版]	18
(2) メールの受信 [フォームを使用する方法]	19
(3) フレーム機能	23
7 . 補足	27
(1) J A V A アプレット	27
(2) イメージマップ (クリックابل・マップともいいます)	27
(3) リンクみるだけ	28
(4) J P E G 画像のプロGRESSIVE化	28
(5) その他の注意点	28
8 . F T P 転送	29
9 . サーチエンジンへの登録	30
付録 1 . C l i p D e c o d e r の使い方	
2 . 「べっこあめ」メールバックのご利用方法	

1 . はじめに

このコースでは、「ホームページ作成入門」に引き続き、ホームページを作成するための、より実践的な内容を学習します。

「入門」では、基本的にエディタとマイクロソフト・インターネットエクスプローラバージョン4（以下「IE4」といいます。）のみを使用してホームページ作りを行いました。本編では、IBM社のホームページビルダー（Ver3）（以下「ビルダー」といいます。）というホームページ作成用のソフトを使用します。

また、技術的には、GIFアニメーション、画像の変換（GIF画像の透明化及びインターレス化、JPEG画像のプロGRESSIVE化等）、メール受信機能、フレーム機能、JAVAAプレットなどを学びます。

最後に完成したホームページ用ファイルについて、FTP転送機能、リンク関係の参照機能並びにホームページをインターネット上の検索専用ホームページに一括登録するための便利な方法などをご紹介します。

本コースでは、受講する方が顧客からホームページの作成を依頼されたというシナリオに沿って作成方法を学びます。最初に作るホームページは、シンプルなものですが、徐々に変えていきます。

では、早速、始めましょう。

2 . ホームページビルダーの概要

(1) ビルダーの動作環境とインストール

作業を始める前にビルダーをインストールしましょう。

当教室では、すでにインストール済みですが、ご自分でインストールする場合は、次のような動作環境が必要となります。

ビルダーは、WINDOWS 95 又はWINDOWS / NT 4 . 0 で動作します。

ビルダーの動作環境は、主記憶8MB（32MB以上推奨）、ハードディスク20～80MBを必要とします。CPUは、インテルの486DX-266MHz以上を推奨。

なお、CD-ROMドライブは、必須（ひっす）です。

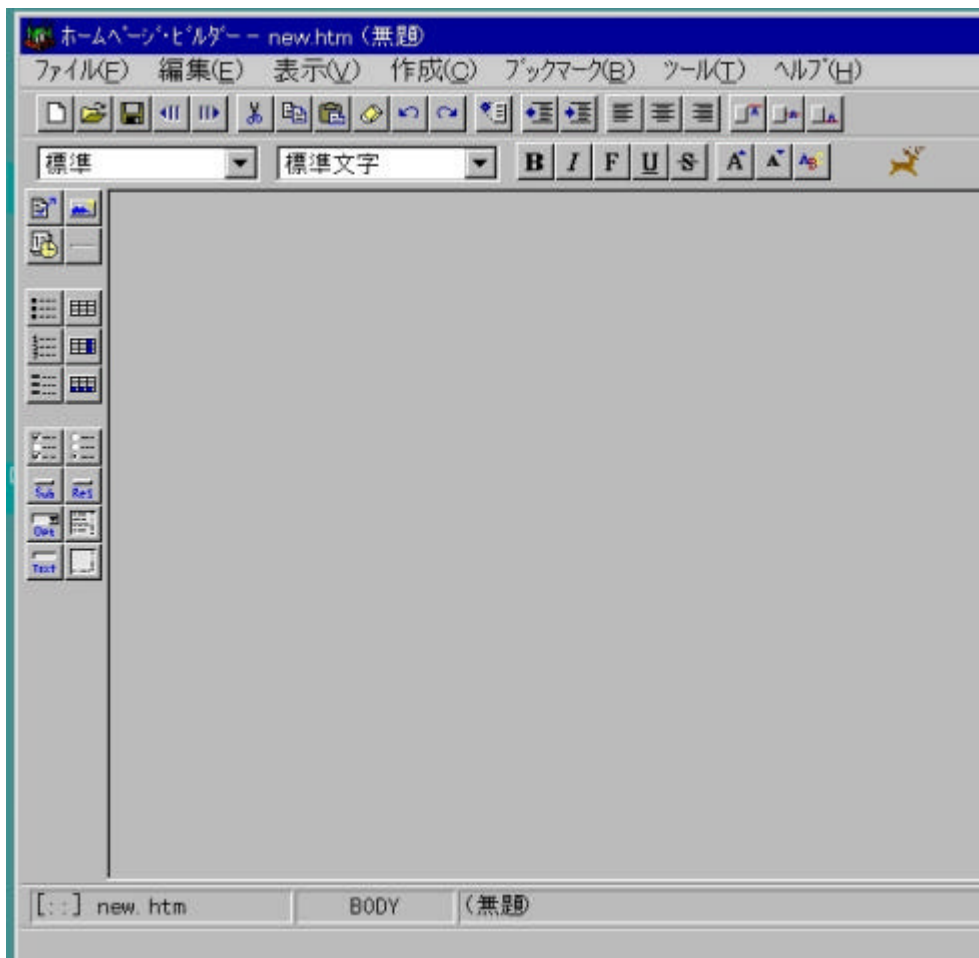
インストール作業は、CD-ROMドライブにビルダーのCD-ROMをセットし、「マイコンピュータ」を開きCD-ROMをダブルクリックして「Install」フォルダにある「SETUP.EXE」をダブルクリックすることにより行います。

(2) ヘルプ

ビルダーで作業を行っていて不明な点が出てきた場合は、「F1キー」を押すか、または「ヘルプ」をクリックしてキーワードの入力または目次をたどることにより知りたい事柄を見つけだすことができます。

(3) ビルダの画面構成

ビルダの基本画面は、次のとおりです。



タイトルバー
メニューバー
標準ツール
バー

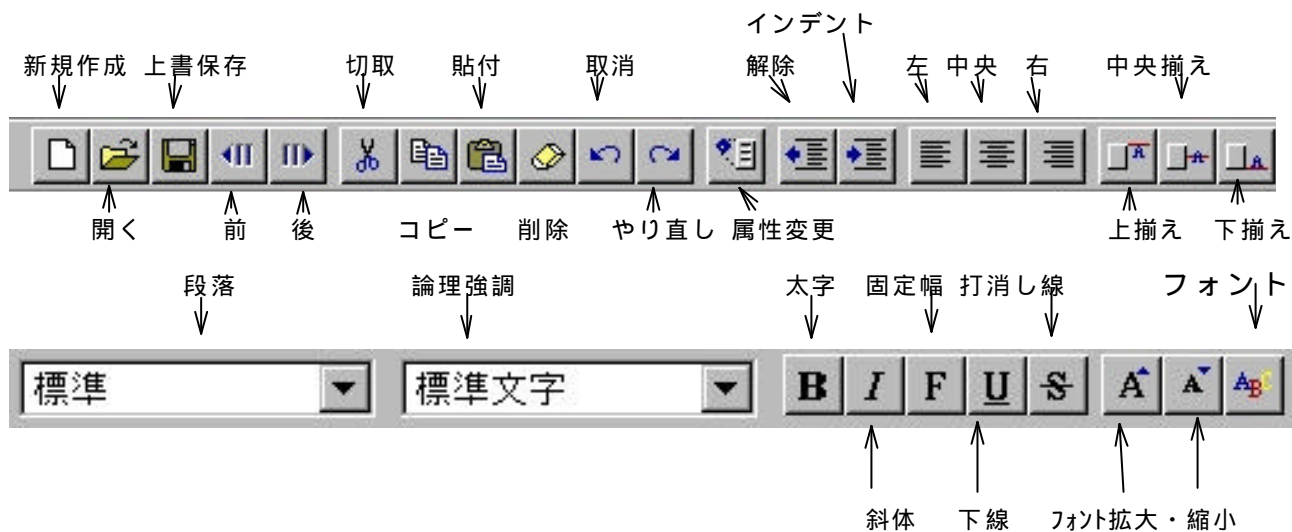
編集画面

作成ツール
バー

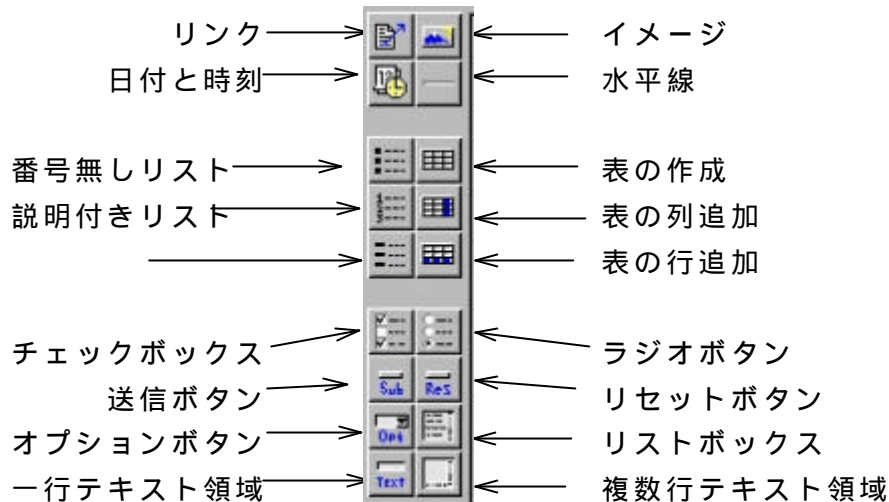
ステータス
メッセージ

ファイル名 フォーカス

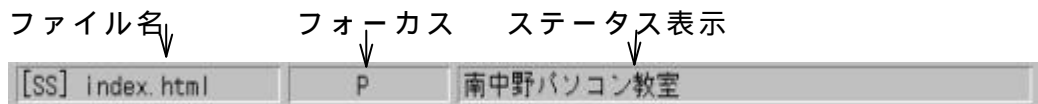
標準ツールバーのアイコンとその意味は、次のとおりです。



作成ツールバーのアイコンとその意味は、次のとおりです。



ステータス行の意味



ファイル名は、現在、編集集中のファイル名が表示されます。

フォーカスは、現在、フォーカスが当たっている部品の名前が表示されます。

部品の名前は、HTMLのタグ名と同じです。

ステータス表示は、文書のタイトル、文書のパス名、ベースURLのうち、

いずれかが表示されます。どれが表示されるかは、メニューバーの

ツール オプション 表示で選択できます。

メッセージ表示行

メッセージには、エラーメッセージ、警告メッセージなどがあります。

また、マウスポインタが当たっているアイコンの説明なども表示されます。

(4) ビルダの基本操作

操作対象を指示する

a. カーソル (マウスポインタと間違えないで下さい。) を置きます。

カーソルは、I字型で表示され、文字や部品が挿入される位置を指示します。

b. 領域の選択

マウスで範囲をドラッグすることにより領域を指定します。

広い範囲を指定したい場合は、始点でクリックし、終点でシフトキーを押しながらクリックします。

c . 部品の選択

選択したい部品をダブルクリックします。

フォーカスを当てる

HTML文書は、タグと呼ばれる< x x x >で修飾された文字列でできています。それらをここでは、部品と呼びます。HTML文書は、これら部品を積み上げて作られたものです。

それらの部品の1つにフォーカスを当てるためには、

a . カーソルを移動します。

b . クリックします。

の2つの方法があります。

また、現在、フォーカスが当たっている部品の親または子の部品にフォーカスを移すためには、フォーカス拡大またはフォーカス縮小のアイコンをクリックします。

フォーカスが当たっている部品に対しては、属性編集、削除、サイズ変更などを行うことができます。

その他の操作

削除、移動、コピーについては、WINDOWSの基本操作と同様です。

すなわち、領域を指定して切り取り、コピー、貼り付けのボタンを利用します。

3 . ホームページ作成の準備

(1) プロトタイプのコンテンツについて協議

顧客の業務内容及び要望を聴取

ホームページ作成を依頼されたあなたは、顧客がどのような内容のホームページを作成したいのか、その要望を聴取しました。

顧客は、インターネットについて詳しい知識がありません。

従って、当面、企業及び一般消費者を対象とした情報提供を中心に考えているとのことです。

あなたは、顧客からその業務内容等を聞き取り、資料を受け取りました。

顧客の業務内容

聞き取り及び資料によると顧客の業務内容等は、次のとおりでした。

a . 顧客は、「製品安全協会」という通商産業省所管の認可法人。

英語名は、「Consumer Product Safety Association」。

b . 主な事業内容は、次の5つ。

- ・日常生活用品に関する安全基準の作成
- ・安全基準に合格した製品に対する「SGマーク」の表示の認可
- ・SGマーク付き製品の欠陥による人身事故に対する賠償
- ・国からの委託業務の実施

- ・消費生活用製品の事故・苦情に関する相談、斡旋（あっせん）、調停
 なお、これは内部に設けられた「消費生活用製品PLセンター」が行います。
 原則として対象は、非SGマーク付き製品。

- c. 根拠法規は、「消費生活用製品安全法」。
- d. 製品安全協会（以下「協会」といいます。）の内部規定は、「業務方法書」と呼ばれています。
- e. 製品の安全基準（協会では、「認定基準」と呼びます。）に基づく試験は、協会が委託した国内及び海外の検査機関で実施されています。
- f. SGマークの対象となっている製品は、約100種類です。
 ジャンル別では、「乳幼児用品」、「家具・家庭・厨房用品」、「スポーツ・レジャー用品」、「高齢者用品」及び「その他の用品」となっています。

コンテンツ案

コンテンツ	リンク1	リンク2	リンク3
製品安全協会 住所・地図 TEL/FAX e-mail	製品安全協会 理事長挨拶 沿革 組織図	根拠法規 出資者名簿リンク 役員名簿 業務方法書 評議員名簿 安全管理委員名簿 PLセンター出資名簿	
What's New	What's New ----- 新対象製品紹介 ----- 候補製品紹介 ----- SG数量（当月） ----- 新業者名等（当月） ----- 事故苦情（当月） ----- イベント情報	新対象製品紹介 ----- 候補製品紹介 ----- SG数量（当月） ----- 新業者名等（当月） ----- 事故苦情（当月） ----- イベント情報	新基準の概要 手続書（品目編）抜粋 参加申込様式
SGマーク制度	SGマーク制度 制度の概要 対象製品名 SGマーク数量 SGマーク業者名簿 表示手続 基準作成の方法 被害者救済制度	基準の概要 工場登録手続 型式確認手続 ロット認定 事故発生届 事故苦情統計 同上図	製品の例示図 各申請書様式 各手数料の概要 委託検査機関一覧表
SGマーク付きでない製品事故	非SG製品の事故苦情 PLセンターの活動概要 他センター・リンク	統計 図	
Sマーク制度	Sマーク制度 制度の概要 第1種製品手続 第2種製品手続	安全基準・図 申請書様式 届出書様式	
その他業務	委託調査研究等		
リンク集	リンク集 ----- 官公庁 ----- 出資者 ----- 業界団体 ----- 検査機関等		

前記のコンテンツについての協議

協議した結果、プロトタイプについては、案のとおり作成することになりました。
デザイン等についても任されることになりました。

(2) ファイルの準備

あなたは、ホームページの作成に必要な資料の一部をフロッピーディスクの形で協会から受け取りました。

残りの資料は、印刷物しかないためテキストに移し替える作業が必要になり、また、製品毎(ごと)の図をスキャナーで読み取る仕事もあなたが行うことになりました。

また、官公庁、関係団体のリンク情報についても不明なので調べることになりました。

テキストファイルへの変換

文書資料は、すべてテキストファイルに変換しなければなりません。

ただし、「一太郎」や「ワード」の最新版では、HTML文書に変換して出力することができるようになったため必ずしもテキストファイルに変換する必要はないのですが、ここでは、一応、すべてをテキストファイルに変換したとしましょう。

印刷文書をスキャナーで読み取りテキストファイルに変換

印刷文書は、スキャナーで読み取りOCRソフトを使用してテキストファイルに変換することができます。

OCRソフトには、「認識工房」、「読んでココ!」などがあります。

しかし、すべての文字を完全に変換することはできませんので人手による手助けが必要となります。これについても実行したことにします。

なお、興味がある方は、当教室でスキャナーとOCRソフト(「認識工房」)を使用して実際に試みて下さい。

図の読み取り

図は、と同様にスキャナーで読み取り、GIF形式で保存しておきます。

読み取りは、アクセサリのペイントを使用しても良いのですがBMP形式でしか保存できません。また、読み取った画像全体の色調、濃淡等を変えられません。従いまして、ここでは、COREL PHOTO-PAINTで行いました。

HTMLで画像を使用する場合は、256色画像は、GIF形式、それ以上の場合は、JPEG形式と定められていますが、ここでは、原稿の画像がイラストに近いので、より容量が少なく済むGIF形式に変換することにしました。

また、解像度は、出力機器がスクリーンなので最終的には72dpiとします。

これについても興味のある方は、別途、当教室で試みて下さい。

なお、図中に説明文や記号を入れる場合は、上記のソフトで行うことができます。

リンク先一覧表

官公庁等のURL (Uniform Resource Locator) は、Y A H O O ! 等の検索エンジンで調べることができます。

ここでは、検索専用のソフトである「Web Seeker」(エーアイソフト)を利用しました。Web Seekerのような検索専用ソフトは、複数の検索エンジンを利用して一括検索が可能です。また、検索結果の絞り込み等も可能となっています。

(3) ファイル名の決定

各ファイル名を事前に決定しておきます。このように多数のファイルを使用する場合は、ファイル名の命名規則を決めておいた方が混乱しなくてよいでしょう。

「ホームページ作成入門」でも述べましたようにUNIX系のサーバーにファイルが置かれることが多いので名前の大文字、小文字の区別が必要です。ですから、事前にそれも決めておきましょう。また、全角文字の使用は避けましょう。

また、図(画像)も多いのでこちらも規則的な名前を付けておきます。

文章のファイル名

トップページ = index.html とします。

それ以外は、内容の分かるローマ字で長さ8文字以内、拡張子は、htm とします。

画像のファイル名

内容の分かるローマ字で長さ8文字以内、拡張子は、gif とします。

各ファイルの具体的な名称(ファイル名がないものは内容)

講習では、 のファイルのみ利用します。

トップページ = index.html

製品安全協会 = anzen.html

理事長挨拶

沿革

根拠法規 = horitu.htm

地図(東京) = toktizu.gif

地図(大阪) = osatizu.gif

出資者名簿・リンク(エクセルで作成) = syussi.htm

組織図 = sosikizu.gif

役員名簿(エクセルで作成) = yakuin.htm

業務方法書 = hohosyo.htm

評議員名簿(エクセルで作成) = hyogiin.htm

安全管理委員名簿(エクセルで作成) = ankaniin.htm

PLセンター-出資団体名簿(エクセルで作成) = pliin.htm

What's New = whatsnew.htm

新対象製品紹介

新対象製品紹介 = sinhinmk.htm

新基準の概要 = sinkijun.htm

手数料他(ほか)(エクセルで作成) = sintesu.htm

手続書(品目編)抜粋(エクセルで作成) = sintetuzk.htm

候補製品紹介

候補製品紹介 = sinkoho.htm

参加申込様式 (エクセルで作成) = sankayos.htm

S G 数量 (当月)

S G 数量 (当月) (エクセルで作成) = tosgsu.htm

新業者名等 (エクセルで作成) = sinkojyo.htm

事故苦情 (当月)

事故苦情 (当月) (エクセルで作成) = sinjiko.htm

イベント情報

イベント情報 = event.htm

S G マーク制度 = sgseido.htm

制度の概要

対象製品名

対象製品名 (エクセルで作成) = seinhin.htm

S G マーク表示数量

S G マーク表示数量 (エクセルで作成) = sgsukei.htm

S G マーク表示業者名

S G マーク表示業者名 = sgmeibo.htm

S G 基準の概要

S G 基準の概要 = cpsannnn.htm (nnnnは、前ゼロ数字)

対象製品の例示図 = seihnnnn.gif (同上)

基準作成の方法

表示手続の概要

工場登録手続 = kojyo.htm

申請書様式 (エクセルで作成) = kojyosin.htm

手数料 (エクセルで作成) = kotesu.htm

型式確認手続 = kata.htm

手数料 (エクセルで作成) = katatesu.htm

ロット認定 = lot.htm

委託検査機関一覧 (エクセルで作成) = kensa.htm

被害者救済制度

事故発生届等様式 (エクセルで作成) = todoke.htm

統計情報 (エクセルで作成) = jiktokei.htm

図 = jikoznn.gif (nnは図番号)

S G マーク付きでない製品事故苦情 = hisg.htm

PLセンターの活動概要

他製品センター情報及びリンク (エクセルで作成)

統計情報 (エクセルで作成) = hisgjiko.htm

図 = hisgnn.gif

S マーク制度 = sseido.htm

制度の概要

第1種製品の安全基準 = s1anzenn.htm (nは、数字)

図 = anzenn.gif (nは、数字)

第1種製品の手続き = s1tetuzk.htm

登録申請書様式 (エクセルで作成) = storoku.htm

型式承認申請書様式 (エクセルで作成) = skata.htm

第2種製品の安全基準 = s2anzenn.htm

第2種製品の手続き = s2tetuzk.htm

届出書様式（エクセルで作成） = stodoke.htm

その他業務 = sonota.htm

委託調査研究等 = chosa.htm

リンク集 = link.htm

官公庁リンク

出資者リンク

業界団体リンク

検査機関等リンク

（４）デザイン

顧客が「製品の安全性」に関する機関なのでそれに関連するデザインを考えることにします。

トップページのデザイン

タイトルは、平凡ですが「製品安全協会ホームページ」とします。

これをデザイン化して上部に配置します。

この画像ファイル名をtop.gifとします。

次に背景模様は、英語名の「Consumer Product Safety Association」をデザイン化したものを用います。この背景模様のファイル名をtopback.gifとします。

また、トップページには、当面、次の名称等を配置することになります。

製品安全協会 = anzen.htm

What's New = whatsnew.htm

S G マーク制度 = sgseido.htm

S マーク制度 = sseido.htm

非 S G マーク製品の事故・苦情 = hisg.htm

その他業務 = sonota.htm

リンク集 = link.htm

地図（東京） = toktizu.gif

地図（大阪） = osatizu.htm

これらの文字の先頭には、ボタンを付けます。ボタン名は、名称の先頭 4 文字 + bot.gif とします。例えば、What's New は、whatbot.gif というようにします。

なお、ページ下部には、

住所 = 〒170 東京都豊島区東池袋2-6-6

電話番号 = 03-3590-6231（総務部）

F A X = 03-3590-5941

電話番号 = 03-3590-3401（製品安全部）

F A X = 03-3590-3691

電話番号 = 03-3590-3421（消費生活用製品 P L センター）

0120-11-5457

F A X = 03-3590-3691

〒540 大阪府中央区谷町3-4-5 (大阪支所)

電話番号 = 06-941-6422

F A X = 06-941-6444

を配置します。

リンク 1 のページ

リンク 1 のページは、次のとおりです。

これらにも背景模様を入れることにしましょう。背景模様は、それぞれ、名称の先頭 4 文字 + back.gif とします。

製品安全協会 = anzen.htm	- - - - -	anzeback.gif
What's New = whatsnew.htm	- - - - -	whatback.gif
S G マーク制度 = sgseido.htm	- - - - -	sgseback.gif
S マーク制度 = sseido.htm	- - - - -	sseiback.gif
非 S G マーク製品の事故・苦情 = hisg.htm	- - - - -	hisgback.gif
その他業務 = sonota.htm	- - - - -	sonoback.gif
リンク集 = link.htm	- - - - -	linkback.gif

リンク 2 以降のページ

背景模様は、単色とします。

4 . ホームページ (V e r 1) の制作

(1) トップページの作成

ファイル名の命名

これから作成するファイル群を置く場所を決めます。あなたには、ネットワークコンピュータ上の「¥¥kisaragi¥e¥お名前」というフォルダを使用させていただきます。

スタートボタンからビルダーを起動します。

作業を始める前に新しいフォルダを作成して、新規作成ファイルを「index.html」としてファイル名を付けましょう。

- a . 「ファイルを開く」をクリック
- b . ファイルの場所にネットワークからkisaragiを開いて、eを選択します。
- c . 「新しいフォルダの作成」をクリックし「あなたの名前(姓)」を付けます。
- d . ファイル名を「index.html」とします。
- e . 「開く」ボタンをクリック

こうするとステータス行のファイル名が「index.html」に変わりました。

タイトル

次にタイトルを付けます。

- a . メニューバーから「編集」 「ヘッダ情報」をクリックします。
- b . ダイアログボックスが表示されます。
ここでタイトルに「製品安全協会ホームページ」と入力します。
- c . 「開く」をクリックします。

画像の貼り付け

すでに¥¥kisaragi¥¥internet¥workに必要なファイルがそろっています。
これを利用します。

- a . 「イメージ」をクリックします。
- b . ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。
前述のとおり、「top.gif」を指定します。
- c . 「開く」をクリックします。
- d . 自分のフォルダにコピーするか否かを尋ねてきますので「はい」をクリックして下さい。
- e . 位置は、左寄せで貼り付きますので「中央揃え」ボタンをクリックして画面中央に表示させます。

画像のインターレス化

画像ファイルは、普通のgif形式ですのでI E 4で表示させた場合、上部から徐々に表示されます。これを最初、不鮮明な画像が表示され段々に鮮明になっていく「インターレス化」されたgif画像に変換しましょう。

- a . 画像を右クリックします。
- b . イメージの変換を選択します。
- c . イメージの変換ダイアログボックスが表示されます。
- d . 「G I Fのプロパティ」を選択して「インターレスG I F」をチェックします。
- e . 「O K」をクリックします。
- f . 「元のファイルに上書きしますか」という注意メッセージが出ますので「はい」をクリックします。

画像の透明化

このままでは、背景画像を表示させた場合、「top.gif」が四角に表示されます。
しかし、画像上部の白い部分は、下の背景画像を透過させた方が見栄えが良いです。
そこで、画像ファイルの透明化を行います。

- a . 画像を右クリックします。
- b . イメージの変換を選択します。
- c . G I Fのプロパティで透明化をチェックし「スポイト」の絵をクリックします。
- d . マウスカーソルが「+」の形になりますから画像の白い部分（透明化させたい色の部分）に持っていきクリックします。するとその色の番号（0 ~ 2 5 5）が表示されます。

- e . 「 O K 」 をクリックします。
- f . 「元のファイルに上書きしますか」という注意メッセージが出ますので「はい」をクリックします。

背景画像の挿入

背景画像を指定します。

- a . 「編集」 「文書のプロパティ」 「背景/テキスト色」を選択します。
- b . ダイアログボックスが表示されました。ここで、「背景パターン」の下の入力ボックスに背景画像のファイル名を入力します。
実際は、「参照」をクリックして前述のworkフォルダから「topback.gif」を選択します。
- c . 確認する場合は、「適用」をクリックします。
- d . 「 O K 」 をクリックします。
- e . 自分のフォルダにコピーしてくるかを尋ねてきますので「はい」を選択します。
- f . 背景イメージの名称から / / ・ ・ を省きます。（ネットワークからのためです）

水平線の挿入

次のメニューとの間に水平線を入れます。

- a . 画像の下にカーソル「 I 」を移動します。
- b . 「水平線」をクリックします。

コンテンツの配置

トップページからリンクされる7つの表題を書き入れます。

- a . 水平線の下にカーソルを置きます。
- b . 「製品安全協会」と書き入れます。
- c . 見出し1にします。
- d . 文字位置は、左詰めとします。
- e . 同様に「What's New」、「S G マーク制度」、「S マーク制度」、「S G マーク付きでない製品事故」、「その他業務」、「リンク集」を書き入れます。

1行毎（ごと）に改行します。

次の文字位置、大きさ等は、直前のスタイルが踏襲されます。

ボタンをそれぞれのメニューの先頭に付けます。

- a . それぞれの文字列の先頭にカーソルを置き「イメージ」アイコンをクリックします。後は、「top.gif」の貼り込みと同様です。ボタンの前は、半角または全角1文字をあけましょう。
- b . ボタンの画像にフォーカスを置いた状態で（縦位置の）中央揃えをクリックします。ボタンと文字の中心が揃います。
- c . 「top.gif」と同様に透明化の操作を行います。

リンクの設定

6つのメニューにそれぞれリンクを設定します。その前に水平線を1つ付け加えます。方法は、前述のとおりです。

a. リンクの対象となる文字列をドラッグします。今は、「製品安全協会」をドラッグします。

b. 「リンク」をクリックします。ダイアログボックスが現れますので「ファイルへ」を選択し、「anzen.htm」と記入します。

なお、まだ、この文書を作成していないので「参照」をクリックして選択するわけにはいきません。

c. 同様に残りの6つの文字列にもリンク先を登録します。

「whatsnew.htm」、「sgseido.htm」、「sseido.htm」、「hisg.htm」、「sonota.htm」並びに「link.htm」です。

d. リンク色を青にします。

「編集」「文書のプロパティ」「背景・テキスト色」を選択して「リンク色」を青にします。

住所、電話番号等の記載

その前に水平線を引いておきましょう。水平線の下に「製品安全協会 Consumer Product Safety Association」と記載しセンタリングします。文字の大きさは、文字をドラッグして「フォント拡大」をクリックして適当な大きさにします。

次に文字色を「フォント」をクリックして適宜決めます。

再び、水平線を引きます。

a. 下記の住所、電話番号等を配置します。

本部

住所 = 〒170 東京都豊島区東池袋2-6-6

総務部

電話番号 = 03-3590-6231

F A X = 03-3590-5941

製品安全部

電話番号 = 03-3590-3401

F A X = 03-3590-3691

消費生活用製品PLセンター

電話番号 = 03-3590-3421

0120-11-5457

F A X = 03-3590-3691

大阪支所

〒540 大阪市中央区谷町3-4-5

電話番号 = 06-941-6422

F A X = 06-941-6444

b. 文字の大きさは、見出し4にします。

c . 水平線の下の「製品安全協会」と各部署名は、太字体（B）にします。

書体を変えるには、文字をドラッグして「B」のボタンをクリックします。

地図の貼り付けと文字の回り込み

地図を住所等の左側に配置します。

a . 「イメージ」で画像ファイル「toktizu.gif」及び「osatizu.gif」を貼り付けます。

b . あなたのフォルダにコピーしますかというメッセージが出ますので「はい」と入力します。

c . 貼り付いた画像を右クリックして「イメージの属性」を選択します。

ダイアログボックスの「回り込み」の「左寄せ」をチェックします。

d . 「OK」をクリックします。

アドレスを入れます。

a . ページ下部に水平線を入れます。（単なる慣習です）

b . 水平線の下にカーソルを移動して、「作成」「段落」「アドレス」を選択します。

c . ホームページのアドレス（例：www.xxxx.or.jp/~anzenkyokai/）を書き入れます。

IE 4で確認

a . 上書き保存で保存します。

b . IE 4を起動し「ファイル」「開く」「参照」でindex.htmlを開き「OK」をクリックします。

c . 内容を確認します。

見本が¥work¥indexver1.htmlにありますので必要に応じて参照して下さい。

（2）リンク1のページの作成

トップページからリンクされる7つのページを作成します。

これらは、タイトルと「トップページに戻る」リンクを付け加えるのみとします。

本来は、内容を入れてリンク2のページとリンクを張るべきですが煩瑣（はんさ）になるためこれだけにとどめます。

「製品安全協会」のページ

トップページ同様に作成します。タイトルは、「製品安全協会」。

背景模様は、「anzeback.gif」、「トップページに戻る」という文字列とトップページへのリンクを貼ることを忘れないようにして下さい。

「What's New」のページ

以下6つのページは、同様の操作で作成します。

背景模様のファイル名は、前出の個所（かしょ）を参照して下さい。

トップページからのリンクの確認

トップページのメニューからそれぞれのページがキチンと呼び出されるかを確認しましょう。

リンク1のページからトップページへの戻りの確認

リンク1の7つのページからトップページへ戻れるかどうかを確認しましょう。

(3) リンク2、リンク3のページ

ここでは、作成しません。

5. ホームページの修正 (Ver 2)

Ver 1では、トップページのメニューの配置が左に偏っています。

ここでは、表組を使用してメニューを整然と配置してみましょ。

また、GIFアニメーションを使用して画面に変化を付けることを考えます。

更にビルダーが用意している「ボタン」等を使ってみましょう。

(1) 表組

「index.html」を開きます。

トップの画像の下に水平線がありますが、その次の行の左端にカーソルを移動します。

「表の作成」のボタンを押します。1つのセルからなる表ができます。

「表の列追加」を3回押して横4つのセルからなる表を作成します。

「表の行追加」を3回押して縦横計8つのセルからなる表を作成します。

直下のすでに作成済みのボタンをダブルクリック、表題はドラッグしては、切り取りを選択しそれぞれのセル内を右クリックした後に貼り付けを選択します。

リンクや文字の大きさの情報が失われますので再度、見出し2及びリンク先を指定します。

表全体にフォーカスが当たっている状態で「中央揃え」をクリックします。

8番目のセルには、入れる画像及び文字はありませんが、何も無い状態だと表組が不自然になりますのでスペースを1つずつ入れます。

表全体にフォーカスを広げて(いずれかのセルをクリックして選択後、編集 フォーカス拡大を繰り返して表全体を選択する)、「編集」メニューから「属性変更」をクリックします。ここで、ダイアログボックスの中で、

a. 「枠表示」をチェックします。

なお、チェックをはずすと枠は見えなくなります。

b. 「枠の幅」を3程度にします。

c. 「罫線の幅」を2程度にします。

d. 背景色を水色にします。

表組の際に余分な行、列を作成してしまった場合は、次のようにして削除します。

a . 余分な行は、フォーカス拡大により行全体（表内）が選択された状態（フォーカス表示領域に「TR」と表示されます）で削除をクリックします。

b . 余分な列は、列のいずれかのセルをクリックして選択します。

そして「削除」をクリックします。

上書き保存で保存します。

IE 4 でリンクを含めて結果を確認します。

（２）G I F アニメーション

G I F アニメーションは、パラパラまんがの要領でいくつかの画像を次々に表示させて動きのある効果をねらいます。

そのためには、「ウェブアニメーター」を使用します。ウェブアニメーターによる G I F アニメーション（結果は 1 つの G I F ファイルとなる）は、次の流れで作成します。

- a . ウェブアニメーターを起動します。
- b . イメージを読み込みます。
- c . イメージの順番を整えます。
- d . イメージフレームの属性を設定します。
- e . スクリーンの属性を設定します。
- f . プレビューします。
- g . アニメーション G I F を保存します。
- h . ウェブアニメーターを終了します。
- i . できあがった G I F ファイルを貼り付けます。
- j . I E 4 で確認します。

さて、順番に進めていきます。

ウェブアニメーターを起動

- a . ビルダーを最小化します。
- b . スタートボタンから「プログラム」「ホームページビルダー」「ウェブアニメーター」の順に起動します。

イメージを読み込む

- a . ウェブアニメーターのメニューバーの「新規作成」をクリックします。
- b . 「ファイル」から「開く」を選択しworkフォルダから「anime10.gif」を読み込みます。
- c . 読み込まれたファイルは、異なるウィンドウ上に表示されますので、そのウィンドウの下部のファイル名を右クリックして切り取ります。
- d . 次に先ほどの新規ウィンドウの下部に貼り付けます。
- e . ファイルが切り取られたウィンドウは閉じます。

f . 同様の手順で残りの「animenn.gif」ファイルを数字の n n が少ないものから順に読み込みます。

イメージの順番を整える

- a . 表示される順番は、上から順に実行されます。従って、順番を変えたい場合は、切り取り、貼り付けで順を入れ替える必要があります。
- b . 今回は、そのままです。

イメージフレームの属性の設定

- a . 「anime10.gif」をクリックして選択し、ツールボタンの「フレームプロパティ」をクリックします。
- b . 見出しの「カラー情報」をクリックし、「透明化」をチェックします。
透明色として指定する方法は、カラーパネルまたは画像から「スポイト」で選択します。今回は、透明化したい背景が白（0）なので「透明化する」をチェックするだけです。
- c . 「コントロール情報」の見出しをクリックします。「インターバル」を200とします。これは、200ミリ秒間、画像を表示することを意味します。
- d . 「処理方法」は、デフォルトの「背景色でイメージを消す」のままで良いです。
- e . 「OK」をクリックします。

スクリーンの属性の設定

- a . 「スクリーンのプロパティ」をクリックします。
- b . 「アニメーション」の繰り返し回数の「無限」をチェックします。
- c . 「OK」をクリックします。

プレビュー

- a . 「プレビュー」をクリックします。
- b . 上部のウィンドウでプレビューが表示されます。

保存

- a . 「ファイル」メニューから「名前を付けた保存」を選択し「anime.gif」で保存します。

ウェブアニメーターの終了

「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

G I F 画像の貼り付け

- a . ビルダーを最大化します。
- b . トップページ最上部の画像下の水辺線の下部にカーソルを置きます。
- c . 「イメージ」をクリックし「anime.gif」を貼り付けます。これは、通常の画像の貼り付けと同様です。確認が出ますので「はい」をクリックします。

I E 4 で確認

I E 4 を起動して確認します。

(3) ボタン等の使用


ビルダーは、標準で様々なイメージのボタンやカラーボールを備えています。これは、ツール コンテンツマネージャー ブックマーク サンプルイメージとたどって選択するか、または、通常のイメージデータとして¥¥kisaragi¥¥internet¥image2¥collballから選択します。なお、前段のサンプル内には、カラーボールがありません。

ボタンの使用

- a . サンプルデータから種類をボタンとしてe¥internet¥image2¥collball」とします。
- b . 好きなカラーボールを選択して編集集中のホームページの必要な個所（かしょ）にドラッグアンドドロップします。
なお、カラーボールは、画像なので「コピー・・・」のメッセージが表示されますが「はい」として進めます。
- c . 「製品安全協会 Consumer Product Safety Association」の両側、「本部」、「総務部」、「製品安全部」、「消費生活用製品PLセンター」並びに「大阪支所」の左端に貼り付けます。
- d . 上書き保存します。
- e . I E 4 を起動して確認します。

ボタンの使用

カラーボールと同様に「ボタン」も貼り付けてみましょう。

「anzen.htm」をビルダーで開いて「トップページに戻る」の前に  を貼り付けます。（¥¥kisaragi¥¥internet¥image2¥button¥nav_b103.gif）

6 . ホームページの修正 (V e r 3)

V e r 3 では、メールの受信機能及びフレーム機能を使用してみましょう。

(1) メール受信 [簡易版]

ホームページ上のフォームからホームページの作成者の e - m a i l アドレスにメッセージを送ることができるようにします。

サーバー側の調整が不必要な簡単な方法を用います。

ビルダーで「index.html」を読み込みます。

ページの最後のアドレスの手前に次のような文字を記入します。

「ここをクリックして、皆様のご意見・ご要望・ご質問を電子メールでお寄せください」

「ここ～下さい」の部分をドラッグします。

「リンク」 「メール」をクリックします。

宛先のところにメールアドレスを半角で記入します。ここでは、「mailto:anzen@xxxx.or.jp」となります。

「OK」をクリックします。

これでブラウザで「ここ～」をクリックすると電子メールを送るウィンドウが表示されます。（IE4では、「表示」「インターネットオプション」「プログラム」のメッセージの「メール」の部分が「OutLookExpress」と「Windows Messaging」の場合で形式が異なります。）

（２）メールの受信〔フォームを使用する方法〕

（１）の方法は、簡単ですが、あらかじめ質問項目と選択肢が定まっているアンケート調査のような目的には、向きません。

ビルダーでは、回答項目を網羅したフォームを作成することができます。

フォームの部品として「**チェックボックス**」、「**ラジオボタン**」、「**送信ボタン**」、「**リセットボタン**」、「**オプションメニュー**」、「**リストボックス**」、「**一行テキスト領域**」、「**複数行テキスト領域**」を含めることができます。

ただし、ビルダーでは、サーバー側にフォームからのデータを渡すことができるだけで、入力内容に応じて個別の処理（入力内容に応じた内容を返すことなど）を行うことは、サーバー側に任せられます。通常、このようなプログラムをCGI（Common Gateway Interface）と呼んでいます。これは、CやPerlといったプログラム言語で記述されます。

しかし、このようなプログラムは、セキュリティ上問題がある可能性があり、プロバイダーのサーバーに置かせてもらえないケースが多いようです。（注１）

なお、ご自分でサーバーを持っている場合は、問題はありません。

従いまして、以下では、CGIを使用しないで、入力内容をそのまま電子メールで自分宛に送らせる方法についてご説明します。この方法では、入力内容に応じて必要なデータを利用者に示すことはできませんが、アンケート結果を送らせる程度のことは可能です。

ただし、後述のように文字化けする場合がありますので、その場合は、専用のプログラムを使用して変換することが必要です。

（注１）最近、「べっこあめ」では、フォームを利用したメール受信の要望に応えるために「カウンタ機能」と同様に「Mail Back機能」をサポートしています。このケースについては、で説明します。

ただし、98/5/1現在、受信したメールの送信日時がずれていたり、漢字の文字化けがあるなど若干のバグが見受けられます。また、「べっこあめ」の場合は、これから述べる方法では、うまくメールを発信できません。

先ほどの「ここを～下さい」のリンク先をファイルへのリンクとしてファイル名を「inform.htm」とします。

「index.html」を上書き保存して「inform.htm」を新規に作成します。

タイトルは、「ご意見ページ」とします。

1行目に「ご意見・ご要望・ご質問のページ」と見出し1で記載し、中央揃えとします。

2行目に水平線を入れます。

3行目の先頭にカーソルを置き「作成」メニューから「フォーム/入力部品」「フォーム」を選択します。

「お名前：」と入力した後に「一行テキスト領域」をクリックします。

ダイアログボックスで、

- a . 名前 = 「name」
- b . 入力タイプ = 「テキスト」(選択)
- c . カラム数 = 「20」
- c . 最大入力文字数 = 「20」
- d . 初期値 = (なし)

ここで「名前」に記入された文字が自分宛(あて)のメールに含まれて送信されてきます。(半角英数字とします)

これを入れないと、どの項目の内容かが分からなくなりますので必ず入れましょう。

同様の要領で1行あけた後に「電子メール：」を作成します。

名前は、「email」としておきます。

電子メールの文字数・最大入力文字数は、50。

同様に「あなたのホームページ：」として利用者のホームページのアドレスを記入してもらいます。文字数・最大文字数は、50、初期値は、「http://」とします。

性別の欄を設けます。

性別のようにいくつかの候補から1つを選択させたい場合は、「ラジオボタン」を使います。

- a . 1行あけて「性別：男性」と入力します。
- b . 「ラジオボタン」をクリックします。
 - ・「グループ名」は、「sex」とします。
 - ・「選択値」(自分宛(あて)のメールに送られる値)は、「m」とします。
 - ・「チェック」(初期値としてチェックが付く)は、チェックしないでおきます。
- c . 1桁(けた)あけて再び「ラジオボタン」を押します。
- d . 今度は、「女性」と記入します。

グループ名 = 同一、選択値 = f、チェック = (なし)

- e . 「グループ名」を同一にしないと別のラジオボタンと見なされます。

次に「チェックボックス」を使用してみます。チェックボックスは、ラジオボタンとは異なり複数の項目にチェックを付けることができます。

- a . 1行あけて「通信環境：インターネット」と入力します。
- b . 「チェックボックス」をクリックします。

名前 = com、値 = inet、初期状態 = (クリック)

これで初期値がインターネットのチェックボックスにのみチェックが付いた形となり

ます。

- c . 1 桁 (けた) あけて同様に「パソコン通信」というチェックボックスを作成します。名前 = com、値 = pnet、初期状態 = (なし)

「リストボックス」を作成します。

リストボックスは、表示されるリスト中から 1 つまたは複数個の回答を得る目的で使用します。

- a . 1 行あけて「年代：」と入力します。
b . 「リストボックス」をクリックします。
c . ダイアログボックスで、
- ・ 名前は、「age」とします。
 - ・ 行数は、一度に画面に縦方向に表示される行数を指定します。ここでは、「5」。
 - ・ 複数選択ボックスは、チェックを入れません。

ここでチェックを入れると複数個の回答を得ることができます。

・ リストに含ませる選択項目は、「項目」と「値」に文字を入れて、「登録」のボタンを押します。

次々と登録していきます。

ここでは、「10才未満」～「80才以上」まで10才刻みで設けます。各項目の値(送信される値)は、

0～80までを入力します。

最後に「不明」を登録します。

値は、「?」です。こうすると「不明」が最後に登録されてしまいます。「不明」を先頭に持っていきたい場合は、

をクリックして1つずつ上に持っていきます。

- d . 「OK」をクリックします。

ご意見・ご要望・ご質問は、「複数行テキスト領域」をクリックして作成します。

1 行あけて「ご意見・ご要望・ご質問：」と記入します。

その後に「複数行テキスト領域」のボタンをクリックします。

次にダイアログボックスで、

- a . 「名前」を「message」
- b . 「行数」を5
- c . 「カラム数」を60とします。
- d . 初期値は入れずに「OK」をクリックします。

「リセット」ボタンを付け加えます。

リセットボタンは、入力した内容をすべてクリア（初期値に戻す）働きがあります。

1行あけて、「リセット」をクリックして貼り付けます。

名前は、入れずに「ボタンに表示するラベル」を「リセット」とします。

ボタンの後ろに「リセット（入力内容をクリアします）」と説明を入れましょう。

送信ボタンを配置します。

リセットボタンと同様に「送信ボタン」をクリックして貼り付けます。

「ボタンに表示するラベル」に「送信」と記入します。

フォームの設定

以上は、すべて1つのフォーム内に配置します。

このページでは、先頭行の「ご意見・ご要望・ご質問」と次の水平線を除いて1つのフォーム内にあります。

ここでフォーム自身の設定を行います。

フォーカスをフォーム自身に当てます。フォーカス領域に「FORM」と表示されません。

次に右クリックから「フォームの属性」で下記の項目を設定します。

- a . アクションは、「mailto:」に引き続き自分のメールアドレスを入れます。

ここでは、「mailto:anzen@xxxx.or.jp」としておきます。

- b . メソッドは、必ず「POST」を選択します。

- c . その他の項目は、指定しません。

- d . 「OK」をクリックします。

カラーボールを使用して質問項目の先頭に貼り付けて見栄えをよくしてみましょう。

送られてきたメールは、テキストですが文字化けして内容が分からない場合があります。これは、サーバーがUNIX系なので文字コードがEUCコード、対して送信はJISコード、パソコンは内部的にシフトJISコードというように文字コードの相違から生ずるものです。メールの内容は、例えば、半角スペースは「+」、CRは「%D0」、LFは「%A0」となっています。このように一部を除いて「%+16進数」の形に変換されています。

普通の文字に変換するための簡単な方法としては、「ClipDecoder for Windows」などを利用します。

同ソフトは、前園健一氏の手になるものでフリーウェアです。オリジナルは、田中求之氏のマッキントッシュ版です。いずれも入手先は、

「<http://www.st.rim.or.jp/~ken-mae/>」です。zip形式で圧縮されていますので、解凍には「Lhasa」等を使用します。

workフォルダに入っていますのは、Windows版です。（最終更新日：95/11）

このソフトは、起動後、フォームの内容をクリップボードにコピーして（「編集」メニューから「すべて選択」して）、ダイアログボックス上の「Convert from Clipboard」をクリックするとフォームの内容がエディットフィールドに入ります。

この後に「Save to File」を選択してファイルに落としますか、「Copy to Clipboard」をクリックしてクリップボード経由で文書に貼り付けるかを選択して使用します。

「べっこあめ」の場合

べっこあめの場合は、独自に「Mail Back」サービスを行っています。詳細は、付録の2を参照して下さい。筆者の場合は、この方法で基本的には、受信できます。前述のコード変換の手間は入りません。

ただし、前述のように若干の問題が残っています。

（3）フレーム機能

フレーム機能は、画面を分割して複数個のウィンドウに異なった情報を表示させるものです。ただし、フレーム機能は、IE3以上、ネットスケープ2.0以上でのみ表示できる機能です。従って、フレーム機能に対応していないブラウザに対する配慮が必要となります。

最低限、「このページは、インターネットエクスプローラ3.0以上またはネットスケープナビゲーター2.0以上でご覧下さい。」という内容のメッセージは、表示したいものです。

さて、このようにフレーム機能を使用しているページをIE2以下で見ると空白のページが表示されてしまいます。このようなブラウザを使用している人たちに配慮するためには、「NOFRAMES」タグを使用して、次のような行を付け加えます。

```
<FRAMESET>
フレーム機能の行 - - - - -
<NOFRAMES>
<BODY>
ここに非対応ブラウザ向けの内容を記載します。
</BODY>
</NOFRAMES>
</FRAMESET>
</HTML>
```

こうすれば何も無いページが表示されるよりも、ずっと親切になります。

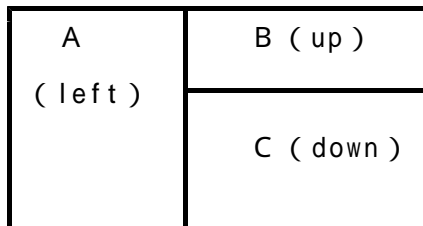
フレーム機能を理解するためにトップページを作り直します。

現在の「index.html」を「indexold.htm」として別名で保存して下さい。

スタートボタンから「フレームエディタ」を起動します。

起動した直後は、フレーム分割はされていません。左側のウィンドウは、フレーム構造を表示するためのものです。

- a . 右側のウィンドウを左クリックして選択し右クリックします。
- b . 縦分割か横分割かを聞いてきますのでまず、縦分割して下さい。
- c . 次に右側のフレームを横分割して下さい。
- d . これで下記のような3分割のフレームができました。



各フレームのプロパティを変更します。

- a . Aのフレームを選択して(ピンク色に縁取りがされます。)右クリックします。
- b . プロパティダイアログボックス上の各属性を変更します。
 - ・URLは、「index1.htm」
 - ・フレーム名は、「left」
 - ・サイズ指定は、左側のボックスを「200」、右側の単位を「ピクセル」にします。
 - ・「OK」ボタンを押します。
- c . Bのフレームについては、同様に、
 - ・URLは、「index2.htm」
 - ・フレーム名は、「up」
 - ・サイズは、左側を「200」、右側のボックスを「ピクセル」にします。
 - ・「OK」を押します。
- d . Cのフレームについては、同様に、
 - ・URLは、「index3.htm」
 - ・フレーム名は、「down」
 - ・サイズは、右側のボックスを「*指定」にします。

これで、A、Bの残りの部分がCフレームに割り当てられます。

「分割数」は、一度に分割するフレーム数を指定しますのでデフォルトの「2」でかまいません。

「編集」から「HTMLタイトルの変更」を選択して「製品安全協会ホームページ」と入力して確定します。

「名前を付けて保存」で「index.html」として保存します。

「ホームページビルダー起動」のボタンを押すとビルダーが起動します。

- a . 「index1.htm」を作成します。
- b . これは、全体のメニューに当たるものでV e r 2の表組の内容がここに入ります。
- c . タイトルは、「製品安全協会ホームページタイトル」とします。
- d . 背景画像は、「topback.gif」とします。
- e . 内容は、上から画像「anzebot.gif」、改行して「製品安全協会」。
- f . 同様に「whatbot.gif」、改行して「What's New」。
 - 「sgsebot.gif」、「S Gマーク制度」。
 - 「sseibot.gif」、「Sマーク制度」。
 - 「hisgbot.gif」、「非S G製品事故」。
 - 「sonobot.gif」、「その他業務」。
 - 「linkbot.htm」、「リンク集」。
- g . テキスト色、リンク色、既読リンク色等を設定します。
- h . 各メニュー項目にリンクを設定します。

方法、内容は、これまでと同様ですが、今度は、リンク先の文書の「ターゲット」に「down」を指定します。これでリンク先を表示するフレームがC (down) になります。

これを行わないとフレームAに表示されることになります。
- i . 上書き保存をします。これでフレーム「left」にこれが表示されます。

「index2.htm」を作成します。先に新規作成 開くで「index2.htm」としておきます。これは、「up」フレームに表示されるものでV e r 2までの「top.gif」がこれに当たりますが、縦サイズが大きいですので、縮小します。

 - a . 「イメージ」で「top.gif」を上部に貼り付けます。
 - b . 上側の境界線にマウスを置き縦方向に半分強ほど縮小します。

画像の属性変更を見て「200」以下に縦方向になるようにします。
 - c . 右クリックして「画像の変換」から解像度で「画面上の解像度」、保存するファイル名を「top1.gif」としておきます。

これを行わないとファイルサイズが大きく読み込みに時間がかかる割に表示サイズは小さいという「無駄」が生じます。
 - e . 背景画像を「sseiback.gif」とします。
 - f . タイトルは、「製品安全協会」とします。
 - g . 「上書き保存」して確定します。

「index3.htm」の作成

フレームCには、最初にホームページを表示させた直後は、「index3.htm」が表示されます。

しかし、フレームAのいずれかをクリックしてリンク先を表示させた後は、「index3.htm」は、表示されることはありません。

従って、ここでは、Ver 2 で作成した GIF アニメーションを表示させておきましょう。

a . 「index3.htm」を作成します。タイトルは、「アニメーション」とします。

b . 「背景画像」は、「anzeback.gif」を使用します。

c . 「anime.gif」を中央揃えで貼り付けます。

d . 「index3.htm」であることを確認して「上書き保存」します。

フレームエディタを終了します。

念のため「index.html」を上書き保存して終了します。

「index.html」は、フレーム構造だけを持っています。

IE 4 で確認してみましょう。

開くファイルは、「index.html」です。

リンクについても確認しましょう。

Ver 2 のトップページにあった「製品安全協会」の住所、電話番号等の記載場所がなくなりました。そこで「anzen.htm」に「indexold.html」からコピーしてカラーボール等を使用して体裁を整えましょう。

「anzen.htm」の末尾の「トップページに戻る」は、意味がないので削除します。

フレーム機能に非対応のブラウザを使用している方向けの配慮として、最初に述べたようにソースプログラムを修正して次の文字を挿入しましょう。

```
<NOFRAMES>
```

```
<BODY>
```

```
<h3>このページが見えていることは、あなたのブラウザがフレーム機能に対応して  
いないことを示しています。フレーム機能に対応したブラウザをご使用下さい。</h3>
```

```
</BODY>
```

```
</NOFRAMES>
```

再度、IE 4 で確認しましょう。

例をworkフォルダの「indexver3.html」に示しておきました。

7. 補足

(1) J A V A アプレット

J A V A アプレットは、米国のサン・マイクロシステムズが開発したプログラミング言語「J A V A」で作成したプログラムです。ツール コンテンツマネージャー ブックマーク サンプルデータ J a v a を選択すると作成されたものを利用できます。

ここでは、G I F アニメーションの代わりに使用してみましょう。

自分でJ a v a スクリプト(J a v a 言語)で直接、命令を記述することもできます。

ビルダーを起動して「index3.htm」を開きます。

「anime.gif」を削除します。削除は、右クリックして削除を選択します。

前述のようにJ a v a を選択します。

貼り付けたいアプレットを選択してドラッグアンドドロップで「index3.htm」に貼り付けます。画像と同様に考えて下さい。

位置を中央揃えに指定します。

サイズは、必要に応じて伸縮できます。

右クリックから「J a v a アプレットの属性」でパラメータを変更できる場合があります。試みて下さい。

アプレットをドラッグアンドドロップでコピーするとサブフォルダが作成されます。ここでは、すべて1つのフォルダに含ませたいのでサブフォルダのファイルすべてを「エクスプローラ」で移動した上でサブフォルダを削除します。

I E 4 で「index.html」を開いて動作を確認して下さい。

(2) イメージマップ(クリックابل・マップともいいます)

イメージマップについては、触れることができませんでした。ビルダーで扱うことができるイメージマップは、「クライアントサイド・イメージマップ(C S I M)」、「サーバーサイド・イメージマップ」のうちの「N C S A」、「C E R N」形式の計3つです。

C S I Mは、H T M L 文書内にマップ情報を記述するものです。ただし、ブラウザによっては、正しく表示できない場合があります。C S I Mの仕様では、マップを別のH T M L ファイルに記述することも可能ですが、ビルダーで扱うことができるのは、同一ファイル内に記述するものだけです。

また、サーバーサイド・イメージマップの方は、パソコン上で動作の確認ができません。一度、プロバイダーに転送した上で動作の確認をする必要があります。

一方、「ホームページ作成入門」で言及した「べっこあめ」の場合は、「サーバーサイド・イメージマップ」でマップファイル(拡張子がmap)を別に作成する必要があります。

このようにイメージマップの扱いは、プロバイダによって様々ですので、ここでは、扱いません。

(3) リンクみるだー

ホームページのすべてのファイルの準備が整ったならば、再度、リンク関係のテストを行います。

今回の場合は、実際にリンクしているファイルの数が限定されていますので困難はありませんが、すべてのファイルを作成してリンクを張った場合は、かなり複雑になります。

そこで「リンクみるだー」をスタートボタンから起動します。

次に「ファイル」メニューから「開く」を選択して「index.html」を開きます。

するとリンク関係が左側のウィンドウに表示されます。

リンク関係は、「深さ」を変更することで表示を変化させることができます。

なお、「深さ」を変更した場合は、「再読み込み」を実施して下さい。

また、リンク関係を詳しく見たいファイルをダブルクリックするとより深い階層が表示されます。リンクエラーや未利用ファイルの検索など結構重宝します。

(4) J P E G 画像のプロGRESS化

G I F 画像と同様にjpg形式の画像ファイルを徐々に表示させることができます。そのためには、J P E G 画像を貼り付けた後で「画像のプロパティ」で変換することができます。

workフォルダに「sora.jpg」というj p g 形式のファイルがありますので、これをtest.htmというH T M L ファイルに貼り付けて試して下さい。

なお、必ず、test.htmに画像を貼り付けた後に実行して下さい。

(5) その他の注意点

文字色は、文字列にフォーカスが当たっている状態で「フォント」ボタンによりサイズ、文字色、フォントを変更することができます。

ただし、フォーカスの範囲に画像などが含まれているとできません。このときは、文字のみをドラッグして「フォント拡大」をクリックし再度、フォーカスを当てると分離してフォーカスが文字列のみに当たるようにできるようです。

ビルダーのリンクの設定では、自文書の他の場所へのリンクについては、容易に任意の場所にリンクさせることができます。他文書の任意の場所へのリンクについては、次のように行います。

まず、リンク先の文書でラベルを付けておきます。次にリンク元の文書でダイアログボックスの参照ボタンをクリックして、リンク先の文書を指定してからラベルを指定します。

8 . F T P 転送

「ホームページ作成入門」では、「小次郎」等のF T P転送専門のソフトをご紹介しましたがビルダーにも転送機能が備わっています。

それは、前述の「リンクみるだー」を使用することで可能となります。



リンクみるだーの右側は、左図のようになっています。

ここで、下の部分がローカルな（あなたの）ディスクになります。上部がリモート（プロバイダのディスク）です。

まず、ローカルなディスクのディレクトリ（フォルダ）をホームページのファイル群が入っているフォルダに指定します。指定方法は、「ディレクトリ変更」を押して変更します。

次に転送の準備を行います。

「設定」のボタンを押します。

見出し「ログオン」をチェックします。

リモート・ホスト名

「ftp.bekkoame.or.jp」のように指定します。I Pアドレスで指定することもできます。

ユーザー名

I D（ユーザーアカウント名）のことです。大文字、小文字の区別に気を付けて下さい。

パスワード

同様に大文字、小文字の区別に気を付けて下さい。

パスワード保存のチェックボックスにチェックを付けます。

見出しのファイアウォールは、会社など常時インターネットと接続している場合は、L A Nとの間に「ファイアウォール」というチェックポイントを設けています。これは、外部から不正に進入することがないように設けるものです。その場合は、ここでそのパスワード等の設定を行います。

個人でダイヤルアップ接続している場合は、関係がありません。

最後に転送モードを決定します。通常は、まるごと転送が便利です。このモードでは、変更の無いファイルは、転送されません。また、階層化がされていても転送されます。

「まるごと転送」のボタンを押して実行します。

なお、転送先のフォルダは、事前にセットしておきます。

例えば、「べっこあめ」の場合は、WWWという大文字のフォルダが見えます。この下にファイルを配置します。トップページのファイル名は、プロバイダによって決められている約束があります（「べっこあめ」では、「index.html」）。それに従って、命名して下さい。プロバイダにホームページを開設したことを連絡する必要がある場合があります。注意しましょう。

9 . サーチエンジンへの登録

「ホームページ作成入門」でも記載しましたが、せっかくホームページを作成したのですから「サーチエンジン」に登録してできるだけ多くの方に見てもらおうようにしましょう。そのためには、個々のサーチエンジンに登録して回るのは大変です。一括して登録してもらえると便利ですね。そのようなところがあります。

次のようなページを利用してみましょう。（無料）

- ・ さぶみっといっと！ = www.dragon.co.jp/submit-it/
- ・ 一発太郎 = www3.wink.co.jp/ippatsu.htm
- ・ NTTの新着情報 = www.ntt.co.jp/WHATSNEW/index-j.html

[不許複製]

定価 1 , 0 0 0 円